

目で見てわかる 機械保全・実践100例

実物や写真を見ながら細かく説明します。

日時 2026年5月11日(月) 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 竹野 俊夫 氏

株式会社HRデベロップメント 代表取締役

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

受講効果

- 【1】ボルト破断やねじ焼付きなど、締結部トラブルを確実に修復する高度な技能が身につきます。
- 【2】軸受摩耗や空気圧・油圧回路の不具合について、実例に基づく原因分析力が向上します。
- 【3】100例の故障事例を活用し、突発停止を防ぎ設備の長寿命化を図れます。
- 【4】修理にとどまらず、故障を未然に防ぐ予知保全の視点を養い、生産性向上に貢献できる技術者へ成長します。

プログラム

第1章 締結部品編

- 1-1 ボルトを取り外す時の注意点とは
 - 1-2 ボルトを再使用するか、新品に交換するかの判断とは
 - 1-3 折れたボルトは、どう外すのか
 - 1-4 取り外したボルトをどう整理するか
 - 1-5 プラスねじの頭部がなめた時の外し方
 - 1-6 ボルトを締め付ける時の注意点とは
- ※実物と実習、写真を通じて現場での締結部品の損傷事例を紹介します。

第2章 軸受部品編

- 2-1 I 電動機の軸受が壊れた原因(コンプレッサーの電動機)
 - 2-2 II 電動機の軸受が壊れた原因(油圧ポンプの電動機)
 - 2-3 III 電動機の軸受が壊れた原因(真空ポンプの電動機)
 - 2-4 軸受の取り外し方、取り付け方
 - 2-5 軸受が繰り返して損傷する原因
 - 2-6 軸受を取り外す工具の選択方法
- ※損傷した軸受の確認方法や、早期に損傷した原因を把握する手法を解説。また、写真を通じて現場での軸受の損傷例を紹介します。

第3章 空気圧装置編

- 3-1 エアシリンダの速度制御ができない原因は
 - 3-2 空気圧回路をよく確認するには
 - 3-3 エアシリンダの設置の仕方は
 - 3-4 圧力制御弁の調整ができない
 - 3-5 レシプロコンプレッサのフィルターから大量のオイル漏れ
 - 3-6 レシプロコンプレッサがエアを圧縮できない
 - 3-7 エアコンプレッサが燃えた
 - 3-8 ソレノイドバルブからエア漏れ
- ※実物と実習、写真を通じて現場での空気圧装置の損傷事例を紹介します。

第4章 油圧装置編

- 4-1 油圧シリンダから異音がする
 - 4-2 油圧ポンプからオイル漏れを頻繁に起こす
 - 4-3 油圧ポンプの種類を見分けるには
 - 4-4 油圧タンクのオイルがすぐに無くなる
 - 4-5 油圧シリンダを取り外す時の注意点
 - 4-6 油圧ポンプの軸継手を交換した時の注意点
- ※写真を通じて現場での油圧装置の損傷事例を紹介します。

第5章 伝達装置編

- 5-1 チェーンが偏摩耗してしまう
 - 5-2 チェーンが切れた原因
 - 5-3 チェーンの交換時の注意点
 - 5-4 Vベルトの良否点検
 - 5-5 動力伝達軸の損傷
 - 5-6 軸継手のメンテナンス方法
- ※実物と実習、写真を通じて現場での伝達装置の損傷事例を紹介します。

第6章 密封装置編

- 6-1 オイルシールからのオイル漏れ箇所を探す
 - 6-2 オイルシールからオイル漏れが止まらない
 - 6-3 Oリングの種類と交換方法
 - 6-4 Oリングの損傷例
 - 6-5 配管接続の構造と使用する工具
- ※実物と実習、写真を通じて現場での密封装置の損傷事例を紹介します。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

